

平成 29 年度 県内就職につながる学びの場づくり支援事業

「新潟県の産業・企業を知る講座等」報告書

新潟産業大学にて行われた新潟県の産業・企業を知る講座について

1. 実施時期 平成 29 年 6 月 17 日（土）～平成 30 年 2 月 3 日（土）

※地域振興論、キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ、社会保障論、金ゼミ、平野ゼミ、留学生企業見学を含んだ知る講座として報告いたします。

2. 講師

(1) 教室内講義

講師陣(外部講師 [十日町市 1 名・公益法人 1 名・企業 5 名・柏崎市 2 名・本学卒業生 5 名、卒業生就職企業関係者 2 名])によって、まず春学期のキャリアデザインでは働くこと就職することの意味や心構えを説き、秋学期の地域振興論では柏崎市とその周辺 の産業を説明し、企業、行政、NPO などでの働き方、とくに地方で働くこと、あるいは起業することの意味や、さらには充実したライフスタイルを得るために必要なワーク・ライフ・バランスと言う考え方も説明した。

また、学生からも多くの質問があがり、これにもそれぞれの講師が丁寧に答えた。

本学からは教員 1 名がコーディネーターを務めた。

参加者数：447 名

実施日	内容	担 当
6/22 (木)	これからの社会に必要とされる 人材像と就職を考える前にすべきこと	① 吉越戦略研究所 中小企業診断士 吉越 喜宗 氏 ② 新潟産業大学経済学部助教 ウリジ バヤル ※【キャリアデザインⅡ留 別紙報告書】
10/13 (金)	① 柏崎の観光事業 ② 海の観光	① 柏崎市産業振興部商業観光課 課長代理 曾田 博文 氏 ② 小竹屋旅館/ご当地サイダー「鯨泉」 鯨泉製作委員会代表・ディレクター /パドラーズ・パラダイス企画・準 備室長 朽堀 耕一 氏
10/20 (土)	十日町市 大地で輝く移住女子	かなやんファーム代表

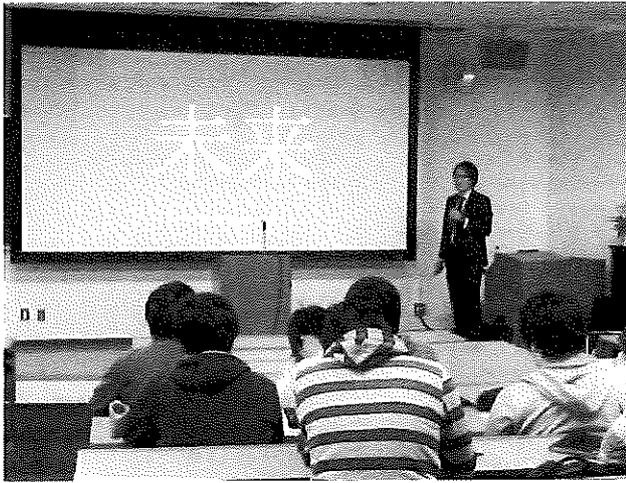
	(新規就農への挑戦)	十日町市農業委員 佐藤 可奈子 氏
10/27 (金)	スポーツ・ツーリズム産業	PVK 株式会社 代表取締役社長 入澤 勇太 氏
11/3 (金)	ものづくりの歴史と企業誘致	柏崎市産業振興部 ものづくり元気発信課 工業振興班 課長 井比 孝広 氏
11/9 (木)	「県内企業を知る」企業の本音を探ろう	新潟産業大学非常勤講師 橋本 康正 氏 県内企業関係者・本学卒業生 5 名 ※【キャリアデザインⅡ・Ⅲ 別紙報告書】
11/17 (金)	企業の CSR 活動	株式会社ブルボン 統合企画部 CSR 統合企画室 室長代理 小保方 薫 氏
11/24 (金)	地域振興と金融	柏崎信用金庫 地域支援室 室長 山田 秀貴 氏
12/1 (金)	ワーク・ライフ・バランスについて	新潟産業大学経済学部教授 梅比良 眞史
12/14 (木)	留学生の日本での就職活動について	・公益財団法人 環日本海経済研究所 経済交流部 経済交流推進員 蔡 聖錫 氏 ・新潟産業大学経済学部助教 ウリジバヤル ※【キャリアデザインⅡ留 別紙報告書】



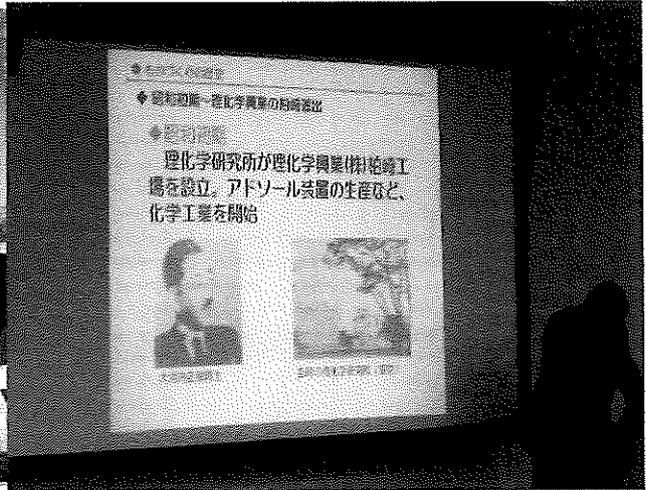
10/20 十日町 大地で働く移住女子



10/13 海の観光



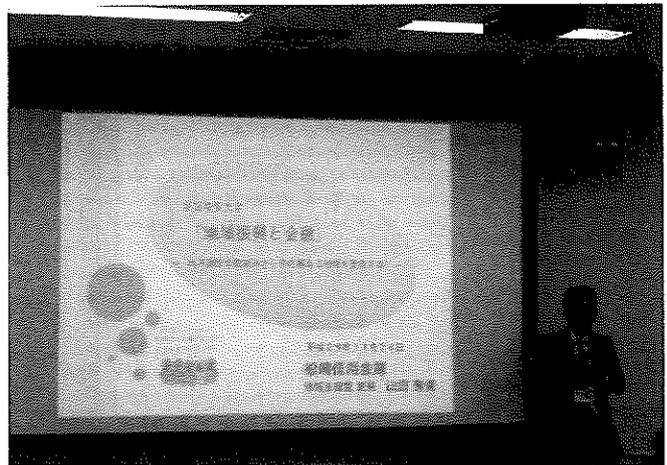
10/27 スポーツ・ツーリズム産業



11/3 ものづくりの歴史と企業誘致



11/17 企業のCSR活動



11/24 地域振興と金融

(2) フィールドワーク

- ・外部講師 [県内企業 10名・柏崎市 1名]

キャリアデザイン（留学生用）やゼミの授業で6次産業化事例の実地見学を含め近隣の企業を視察した。

地域振興論では、農業・観光・文化施設の見学から始まり、消防本部では防災体制のレクチャーを受け、魚市場の仕組みを学び、市場での働き方の説明を受けた。さらに機械製造工場、菓子製造工場などを見学した。

これらすべてのフィールドで、実際に働いている人々の現場の日常業務を具体的に解説してもらい、参加学生と講師との質疑応答も活発になされた。

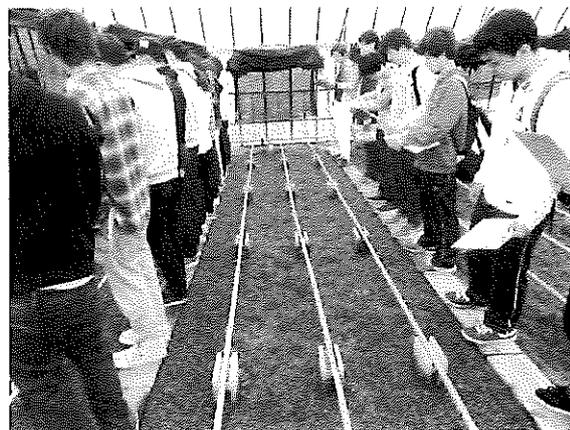
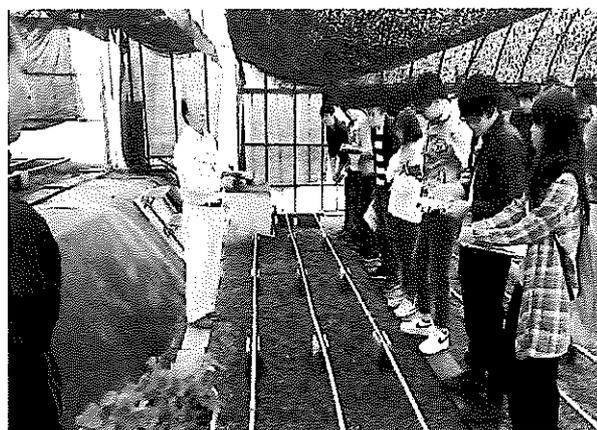
最後の追加フィールドワークとして、行政の関わるスキー場などの野外施設や宿泊施設の見学を行った。

またゼミ活動と共同で、就職活動を控えた3年生を対象とし、介護や医療への正しい理解を促進するとともに多くの県内企業・団体やその業務内容と製品等を知ることにより、学生たちの視野を広げ、県内への就職に結びつけることを目的として福祉・介護・健康フェアに参加した。

見学者数：259名

実施日	見学先
6/17 (土)	① 株式会社 ファームくじらなみ ② ニッカイ米山 日本海フィッシューマンズケープ株式会社 【キャリアデザインⅡ留学生 企業見学】※別紙報告書あり
7/1 (土)	小国和紙生産組合→朝日酒造株式会社→燕三条地場産業振興センター →新潟ふるさと村 【金ゼミナールⅠ企業見学】※別紙報告書あり
9/19 (火)	株式会社ブルボン本社→阿部建設 【チューター主催 留学生企業見学】※別紙報告書あり
10/21 (土)	道の駅国上→道の駅良寛の里わしま→道の駅越後出雲崎天領の里→ 日本海石地わさび園→道の駅西山ふるさと公苑 【金ゼミナールⅡ企業見学】※別紙報告書あり
10/21 (土)	日本海石地わさび園→刈羽村生涯学習センター「ラピカ」(PVK株式会社) 【地域振興論企業見学】
10/28(土)	柏崎市消防本部→株式会社柏崎魚市場 【地域振興論企業見学】
11/4 (土)	株式会社テック長沢→株式会社阿部建設 【地域振興論企業見学】
11/18 (土)	ドナルド・キーン・センター柏崎 株式会社ブルボン工場 【地域振興論企業見学】
11/19 (日)	福祉・介護・健康フェア 【社会保障論・平野ゼミナールⅡ 福祉分野企業見学】※別紙報告書あり

11/25 (土)	日本海石地わさび園 【キャリアデザインⅠ留学生 企業見学】※別紙報告書あり
1/13 (土)	新潟ユニゾンプラザ福祉機器展示室 (あおやまメディカル株式会社) 【社会保障論・平野ゼミナールⅡ福祉分野企業見学】※別紙報告書あり
2/3 (土)	新潟県立こども自然王国 高柳じょんのび村 【地域振興論企業見学】



10/21 日本海石地わさび園



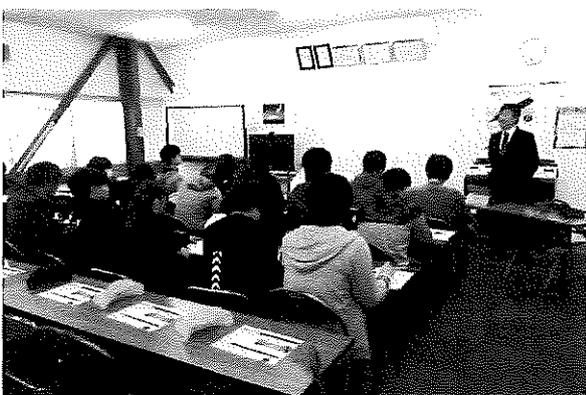
10/21 刈羽村生涯学習センター「ラピカ」PVK 株式会社



10/28 柏崎市消防本部



10/28 株式会社魚市場



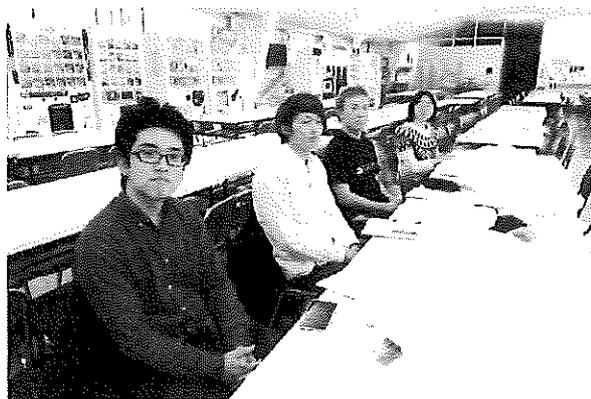
11/4 株式会社 テック長沢



11/4 株式会社 阿部建設



11/18 ドナルド・キーンセンター柏崎



11/4 株式会社ブルボン本社工場

3. 参加者

(1) 参加者数：講義およびフィールドワークの各回の参加者は以下のとおりである。

日程	本学教職員・学生	聴講生（一般）	小計	備考
6/17 (土)	18		18	見学 (キャリアデザインⅡ留 学生)
6/22 (木)	19		19	講義 (キャリアデザインⅡ留 学生)
7/1 (土)	15		15	見学 (金ゼミナールⅠ)
9/19 (火)	16		16	見学 (フューチャー主催企業 見学)
9/29 (金)	43		43	講義 (地域振興論)
10/13 (金)	36		36	講義 (地域振興論)
10/20 (金)	40		40	講義 (地域振興論)
10/21 (土)	30		30	見学 (地域振興論)
10/21 (土)	12		12	見学 (金ゼミナールⅡ)
10/27 (金)	50		50	講義 (地域振興論)
10/28 (土)	27		27	見学 (地域振興論)
11/3 (金)	38		38	講義 (地域振興論)
11/4 (土)	37		37	見学 (地域振興論)
11/9 (木)	71		71	講義 (キャリアデザインⅡ・ Ⅲ 日本人)
11/17 (金)	37		37	講義 (地域振興論)
11/18 (土)	31		31	見学 (地域振興論)

11/19 (日)	9		9	見学 (社会保障論・平野ゼミナルⅡ)
11/24 (金)	39		39	講義 (地域振興論)
11/25 (土)	45		45	見学 (カリテグザイ I 留学生)
12/1 (金)	38		38	講義 (地域振興論)
1/13 (土)	11		11	見学 (社会保障論・平野ゼミナルⅡ)
12/14 (木)	36		36	講義 (カリテグザイ II 留学生)
2/3 (土)	8		8	見学 (地域振興論)
計	706		706	
講義				
フィールドワーク				

(2) 参加者の声・教室内講義

昨年度、一昨年度と同様、地域の産業構造や個別の企業、施設、行政の仕組みなど新たな発見があった、という声を受講者から多数寄せられた。

下記のアンケート結果を見れば、全体的にアンケートの Q4「地域に対する考え方」、Q5「就職に対する意識」の集計数によると、大多数の受講者が「大いにそうだ」「そうだ」と答えている。また「就職に対する意識が高まったか」という質問についても同様の結果が出た。このことから地域・就職に対する意識の高まりが窺える。

10月13日の、地元でUターンし、旅館業を再構築した講師の SNS を利用した話に関心をもった受講生が多かったことは Q1・2 から分かる。柏崎市で行うイベント発信に学生の参加が求められたが、この夏にはその結果を注目したい。

10月20日の、十日町市に移住 (Iターン) し、就農した講師の生き方と農業の面白さに受講生は共感していたが、自分が農業を職業とすることには戸惑いがあることが Q1・2 と Q5 から分かる。

ついで11月3日の「ものづくりの歴史と企業誘致」では柏崎地域の基幹産業が製造業であるが、地元企業について未知の部分が多いことが見て取れる。

11月17日の、「CSR 活動」について企業の新しい在り方に関心をもって知ったことが Q1・2・3・5 から分かる。

11月24日の講義では、地方の金融機関が地域振興に大きな役割を果たしている、その重要性についてよく認識したことが Q1~5 で分かる。

最後に12月1日「ワーク・ライフ・バランスについて」の講義アンケートでは、「働き方についての考え方が変わった」と言う学生が数多くいた。さらにいえば、「ワーク・ライフ・バランス」という考え方を知れば、就職に対する意識が変わると思われる。

- Q1：あなたはこの授業を受けて、その内容を理解できましたか
- Q2：あなたはこの授業のテーマについて、関心を持ちましたか
- Q3：あなたはこの授業のテーマについて、理解が深まりましたか
- Q4：あなたはこの授業を受けて、地域に対する考え方が変化しましたか
- Q5：あなたはこの授業を受けて、就職に対する意識が高まりましたか

授業実施日	回答枚数	Q1					Q2					Q3					Q4					Q5				
		大いにそうである	そうである	どちらともいえない	そうではない	全くそうではない	大いにそうである	そうである	どちらともいえない	そうではない	全くそうではない	大いにそうである	そうである	どちらともいえない	そうではない	全くそうではない	大いにそうである	そうである	どちらともいえない	そうではない	全くそうではない	大いにそうである	そうである	どちらともいえない	そうではない	全くそうではない
2017年09月29日	31	11	18	2		7	18	6		9	18	4		8	18	4	1		7	19	4	1				
2017年10月13日	36	18	16	2		19	13	3	1	17	17	2		16	16	3	1		11	20	3	1	1			
2017年10月20日	39	22	15	2		15	20	3	1	18	19	2		14	21	3	1		11	24	3	1				
2017年10月27日	28	12	13	3		9	13	6		9	13	5	1	8	16	4			9	9	10					
2017年11月3日	37	13	21	3		12	18	7		14	17	6		13	20	4			12	18	6		1			
2017年11月17日	30	15	14	1		14	12	4		17	9	4		13	14	2	1		18	6	5	1				
2017年11月24日	35	17	16	1	1	16	16	2	1	14	17	2	2	15	18	1	1		16	13	4	2				
2017年12月1日	33	17	14	2		15	17	1		18	13	2		13	15	5			18	13	2					
	合計	125	127	16	1	107	127	32	3	116	123	27	3	100	138	26	5		102	122	37	6	2			

[アンケート (講義) 参照]

(3) 参加者の声・フィールドワーク

見学した観光・スポーツ・文化施設について、参加者はある程度の外面的な情報は持っていたが、どのような組織や内部の仕組みで経営されているかについては、今回初めて知った者が大半であった。現場の仕事についても輪郭をもったイメージがつかめたのではないかと推測される。

たとえば魚市場や消防本部など、存在は知っていても、実際の業務が見学で初めて分かり、消防署の防災体制の現実や早朝未明から活動する魚市場の緊張感を感じていた。

また、製造業・建設業の現場を見るのも貴重な体験であったことが窺えた。例年のことではあるが、参加者のレポートを読むと、とくに現場で働く人たちに接し、生の声を聞いたことが強く印象に残っているようだ。地域で働くというライフスタイルを実感し、職業選択の際に大きな影響を残すことと思われる。

平成 29 年度 新潟県委託事業 新潟の産業・企業を知る講座等の報告書

くじらなみファーム、日本海フィッシャーメンズケープ株式会社見学

目的

留学生向けキャリアデザインの一環で産業、企業を知ることがを目的とし、説明講習や体験を通して理解を深める。

見当日スケジュール

日程：平成 29 年 6 月 17 日（土）

時間：9:15~13:30

参加者：19 名(教員は除く)

9:15 大学集合 ⇒⇒⇒ 9:30 大学発駅南口経由 ⇒⇒⇒ 10:00 くじらなみファーム着 11:10 頃 くじらなみファーム発 ⇒⇒⇒ 11:30 頃 日本海フィッシャーメンズケープ株式会社着、徒歩で恋人岬へ（自由見学）

13:00 日本海フィッシャーメンズケープ株式会社発 駅南口経由で大学着 解散



平成 29 年度 新潟県委託事業 新潟の産業・企業を知る講座等の報告書

留学生向け講座

講座名：『これから社会に必要とされる人材像と就職を考える』

講師：吉越戦略研究所 吉越喜宗

期日：平成 29 年 6 月 22 日(木)

9：15～10：45

参加者：20 名(教員は除く)

概要

留学生に日本の社会が求めている人材とは何か、日本に就職する際どのような基礎知識が必要か、将来何をしたいかを中心に講義やディスカッションを通しライフ、キャリア設計、計画することを目的とする。

今、日本で何が起きているかについて 3 つの項目で述べられた。①就職がゴールになっているひが多い。②仕事は生活するためのお金をもらうための犠牲・義務だと思っている人も多い。③経営理念がない。

現在の対策状況についてアインジュタイン博士の「人の価値とは、その人がえたものではなく、その人が与えたもので測られる」を挙げて、それぞれ違う価値観の中で共同体として生きていく上での大切さ、つまり、生涯でいくら稼いだかではなく、社会にどれだけのものを提供できたかが大事。

結びで、就職を考える前にすべきことについて将来何をしたいのかを早めに見つけ目標を持ち努力すること。具体的にどのようにすればよいのか。まずは将来自分がどうありたいかを考えることから始める。1 年後、3 年後、5 年後、10 年後、20 年後間違いなくあなたの 1 日 1 日の積み重ねによって切り開いていく未来である。そのためには今のうちから人生設計や計画を考えておいたほうが良い。

新潟県委託事業

県内就職につながる学びの場づくり支援事業

平成29年度 新潟の産業・企業を知る講座報告書

(1) 取組内容

朝日酒造株式会社、小国和紙生産組合、道の駅燕三条地場産業振興センター、道の駅新潟ふるさと村見学

(2) 実施日

平成29年7月1日（土）

(3) 参加者数

14名（引率教員は除く）

(4) 趣旨・目的

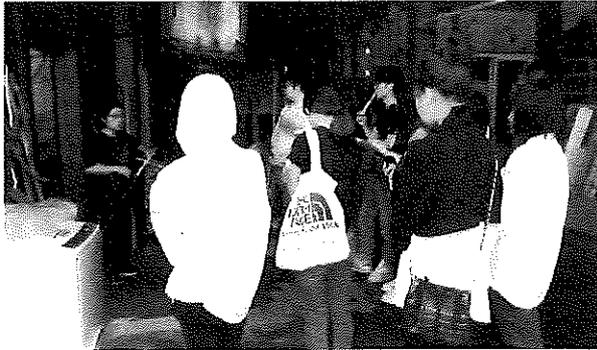
新潟産業大学経済学部のアグリ・フードビジネス分野のゼミナールとして、新潟県内の食品・農業の実態を知り、この分野の産業とかがわりの深い企業と地場物産の流通の拠点である道の駅の現場を体験することによって、県内の地場産業に理解を深め、地域でのインターシップや就職活動につながるようにしたい。

(5) 結果

見学を通して、朝日酒造株式会社における日本酒の生産状況、日本国内における日本酒の生産・消費の状況、海外への販売ルートの開拓状況などについて勉強でき、日本酒についてより身近に感じる事ができた。小国和紙組合では、伝統工芸の伝承の意味とその伝承のための努力及び和紙の生産工芸について学び、和紙の日本酒のラベルとして使用、廃木材の和紙生産過程での燃料としての使用を通し、小国和紙生産組合、朝日酒造株式会社、ヨネックス株式会社の間の地域連携についても学んだ。

道の駅燕三条地場産業振興センターでは燕三条の名産品である洋食器・刃物などの金属加工業について勉強し、道の駅新潟ふるさと村ではお菓子類、日本酒などの食品を中心に現地で見学、調査を行い、新潟の物産について理解を深めることができた。

(6) 実施状況の写真資料



小国和紙生産組合で生産工程について説明を受ける



朝日酒造で日本酒について説明を受ける



燕三条地場産業振興センターで



新潟ふるさと村の日本酒コーナーで



新潟ふるさと村のお菓子コーナーで

新潟県委託事業

【平成 29 年度 県内就職につながる学びの場づくり支援事業】

新潟産業大学

新潟の産業・企業を知る講座 報告書

1) 留学生柏崎市内 企業現地研修

10:00～11:15 株式会社 ブルボン 本社 (柏崎市駅前 1 丁目)

11:30～13:10 株式会社 阿部建設 (柏崎市比角 2 丁目)

2) 実施日

平成 29 年 9 月 19 日 (火)

3) 参加者数

16 名 (教員及び引率者は除く)

4) 趣旨・目的

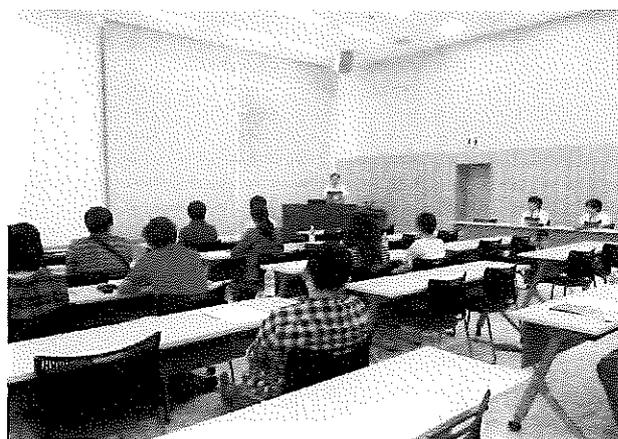
少子高齢化による人口問題が日本全国で取り上げられている。新潟県内も例外ではない。年少人口や生産年齢人口の割合が低下し続け、こうした人口減少・超高齢化により、経済や社会にひずみが生じてくるおそれがある。特に、生産年齢に繋がる若者の県外へ流出が、なお拍車をかけているのが現状である。このような現状を少しでも改善していくためには、外国人の受け入れを増やし、外国人雇用の拡大に繋げ、生産年齢を補う方策として取り組むのも手立てのひとつと考える。ついては、県内に滞在している留学生を対象に、県内企業の現地研修を実施し、企業の事業実態等を知ること、県内での就職活動を促すことを目的とする。

5) フィールドワーク

①株式会社 ブルボン本社

本学在学留学生 (ベトナム・中国・モンゴル・韓国) と日本人学生 2 名を含む 16 名と経済学部上野講師と地域連携センター事務室職員の 18 名で、柏崎市駅前 1 丁目の本社を訪問した。

「ブルボンの歴史と CSR 活動」のタイトルで、映像を見ながら、ブルボンの会社概要や CSR 活動、海外戦略、就職情報等のレクチャーを受けた。留学生から、ブルボンはどうな人材を求めるのか、海外の経営戦略についての具体的な情報を聞くなど、活発な質疑応答がなされた。



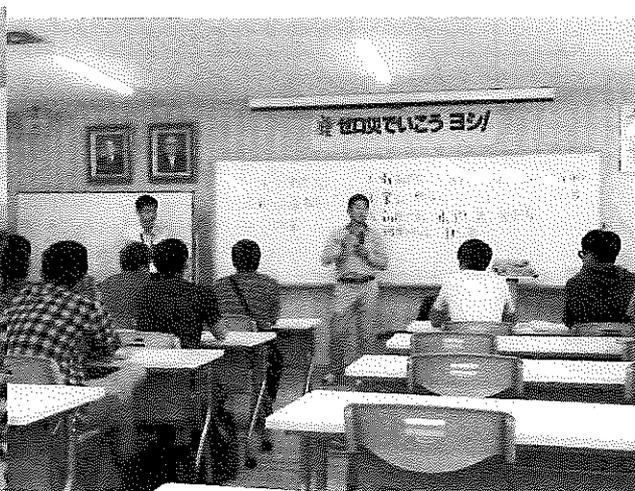
【会社概要及び CSR の仕組みについてレクチャー様子】

②株式会社 阿部建設

株式会社ブルボン現地研修終了後、同じメンバーで株式会社阿部建設に移動した。最初は、会議室で阿部社長より一人ずつ歓迎の拍手が交わされた。その後、画像を用いて会社の概要などについて説明がなされた。引き続きベトナム出身の社員の紹介があり、実際に働いている内容の説明から、日本に来てからの苦労話や語学力の大切さ、そして社員はもちろん人情味あふれる市民の優しさについても触れた。その後、2グループに分かれ、事務所内見学やベトナム出身社員が描いた図面を实际見るなどして体験した。別棟に建っているモデルハウスを見学し、日本家屋の構造や家の建築費用など様々な質問がなされた。一軒の家が出来上がるまで、すべての工程を自社で行っている会社の仕組みに、留学生達が刺激を受けていたのが印象的だった。



【社長自ら歓迎の握手会】



【阿部社長からのレクチャー】



【ベトナム出身の社員による設計製図の説明】



【モデルハウス 見学】

6) 参加者の声

株式会社ブルボンのような大手メーカーの本社が、柏崎にあったということに驚いた留学生が多かった。海外にも進出しており、企業が求めている人材像についても話が聞けたので、とても参考になったようだ。また、株式会社阿部建設では、現場で働く人たちに接し同じ外国人として働いている社員の生の声を聞いたことが、強く印象に残っているようだ。都会とは違って「ライフスタイルを重視した働きがこの地域ならできる」と実感した留学生が多く、「出来ることなら県内で働きたい」との意見が多数あり、そのためにも在学期間中にキャリアアップのために努力していきたいと感想を述べた。

新潟県委託事業

県内就職につながる学びの場づくり支援事業

平成29年度 新潟の産業・企業を知る講座報告書

(1) 取組内容

鎌田養鶏株式会社西山農場、道の駅西山ふるさと公苑、道の駅良寛の里わしま、道の駅越後出雲崎天領の里、石地わさび園見学

(2) 実施日

平成29年10月21日(土)

(3) 参加者数

11名(引率教員は除く)

(4) 趣旨・目的

新潟産業大学経済学部のアグリ・フードビジネス分野のゼミナールとして、新潟県内の食品・農業の実態を知り、この分野の産業とのかかわりの深い企業と地場物産の流通の拠点である道の駅の現場を体験することによって、県内の地場産業に理解を深め、地域でのインターシップや就職活動につながるようにしたい。

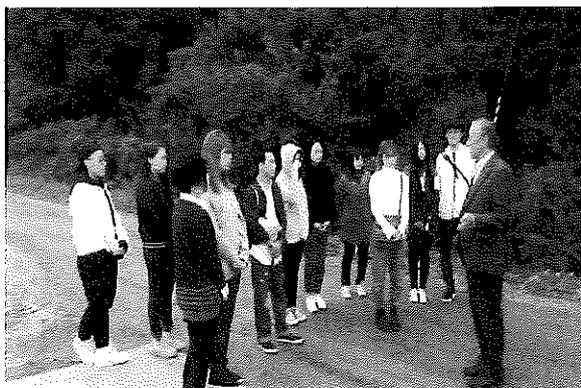
(5) 結果

鎌田養鶏株式会社西山農場では、社長の案内を受けながら養生卵など地元の卵の生産現場を見学し、卵の生産と流通について勉強し、食品の地産地消について考えてみた。西山ふるさと公苑では、地元の農産品の販売コーナー(主にお米と蜂蜜)を見学し、中華風の建物である西遊館・西遊園の見学を通し、柏崎市と中国とのかかわりについて勉強した。

道の駅良寛の里わしまでは、駅長の案内を受けながらこの道の駅と良寛、貞心尼のかかわり、この道の駅の名物であるガンジー牛乳、ガンジーソフトクリームなどについて勉強・体験し、良寛の里美術館の見学も行った。この道の駅で売店で新潟産業大学が商品企画・デザインした「良寛と貞心尼の歌物語」クッキーも販売されていたので、その販売状況も現場で確認した。

道の駅越後出雲崎天領の里では、地元物産の流通・販売の状況について勉強し、石地わさび園では、社長の案内を受けながらわさびの生産過程とわさびを活用した食品生産、6次産業について勉強した。

(6) 実施状況の写真資料



鎌田養鶏場で説明を受ける



鎌田養鶏場で卵の洗浄・箱詰めの現場を見学



西山ふるさと公苑の西遊園で



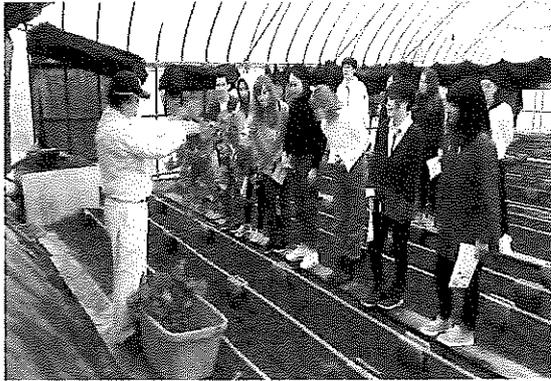
良寛の里わしまで駅長から説明を受ける



良寛の里美術館で



越後出雲崎天領の里見学後海岸で



石地わさび園で説明を受ける



石地わさび園で

新潟県委託事業

県内就職につながる学びの場づくり支援事業

平成29年度 新潟の産業・企業を知る講座等報告書

1) 取組内容

県内企業が参加する展示会への参加（福祉・介護・健康フェア：新潟会場（朱鷺メッセ））

2) 実施日

平成29年11月19日（日）

3) 参加者数

10名（教員は除く）

4) 趣旨・目的

新潟県も少子高齢化が問題となっており、それらに関係する企業や団体も人材不足となっている。新潟県内においても、一見するとそれらの分野と何ら関係ないと思われる企業や団体も実はそれらに関係するサービスや製品開発を行っている。

今回の取り組みは就職活動を控えた3年生を対象とし、介護や医療への正しい理解を促進するとともに多くの県内企業・団体やそのサービスと製品等を知ることにより、学生たちの視野を広げ県内への就職につなげることを目的としている。

5) 結果

本フェアの出展ブースは、医療ゾーン、介護ゾーン、住まいゾーン、口腔ケアゾーン、予防・健康ゾーン、生活支援ゾーン等に分けられており、学生たちは限られた時間のなかで各ゾーンに行き多くのブースを訪れていた。そして、森永乳業株式会社、キュービー株式会社、セコム上信越株式会社、ダスキンヘルスレント、住友林業株式会社等のいわゆる有名企業においては、それらの企業や団体も新潟県内にて福祉・介護・健康分野のサービスや製品等に関係しているという新たな発見があり、また、新潟県内のあまり知られていない企業や団体においては、その存在とともにサービスや製品を知ることができ興味関心を持ったようである。これらのことにより今回の取り組みは大成功であり、学生たちの視野を広げ県内への就職につなげることにとって大変有意義であった。今後もこのような取り組みを継続したいと考えている。



平成 29 年度 県内就職につながる学びの場づくり支援事業

「新潟の産業・企業を知る講座」実施報告書

1. 業界研究セミナー ～県内優良企業を探る～

対 象：キャリアデザインⅡ（2年次配当科目）履修者 54名

実施時間：10：55～12：25（90分）

授業担当教員：橋本康正（本学非常勤講師）

(1) 事業概要

県内企業並びに県内積極採用企業 6 社の社員（本学 OBOG を含む）を講師として迎え、座談会形式で実施した。予め学生を 6 グループに編成し、授業時間内で 1 社当たり 40 分の面談を、入れ替え制で 2 社できるように設定した。本事業の前週の授業では事前準備として、進行係の選出や質問事項の選定等をグループ毎の話し合いの時間を設け、学生が主体的に参加できるよう配慮した。

また企業に対しても、企業説明に加え講師自身の経験を踏まえた「職業観」や「学生時代にやっておくべきだったこと」等の共通質問に対する回答を事前に用意いただき、受講生が企業を知るだけでなく、自身の学生生活に対する気付きや振り返りを促し、キャリアデザインに対する意識・意欲の向上を、効果として期待した。

実施日時	内 容	担 当 (講 師)
11/9 (木) 2 限 10：55～12：25	キャリアデザインⅡ (2年生対象) 業界研究セミナー 【県内優良企業を探る】	①アクシアルリテイシング㈱ 営業企画部次長 古田島 亨輝 氏 ②ワタナベグループ 総務人事部 菅井 瑛奈 氏 ③㈱AOKI 人財採用係 佐藤 みずほ 氏 羽深 圭希 氏 ④金井度量衡㈱ 萩野 祥向 氏 ⑤ホシザキ北信越㈱ 竹股 亜希子 氏 ⑥㈱スズキ自販新潟 石津 慶 氏

【参考】 業界研究セミナー～県内優良企業を探る～の様子

座談会形式にて学生へ企業説明・就活での体験談や、社会人としての心構え等、たくさんのお話を頂いた。限られた時間の中であつたが、学生からの多くの質問に対し、丁寧に分かりやすく対応頂き、講義生たちも真剣に聞いていた。



【ワタナベグループ 様】



【アクシアルリテイリング㈱ 様】



【金井度量衡㈱ 様】



【㈱ホシザキ北信越 様】



【㈱AOKI 様】



【㈱スズキ自販新潟 様】

2. 就職体験談 ～OB、OGに聞く～

対 象：キャリアデザインⅢ（3年次配当科目）履修者 17名

実施時間：13：15～14：45（90分）

授業担当教員：橋本康正（本学非常勤講師）

(1) 事業概要

県内で働く入社5年目までのOB・OGを講師に迎え、授業担当教員がコーディネーターとなりインタビュー形式で実施。講師の就職活動から就職後の現在に至るまでの体験談を通じて、就職に対する気付きを促すことを目的とする。講師を入社5年目までに限定した理由は、就職環境や気質等、受講生とより近い世代の社会人と交流することで、より現実的な理解が深まるとの判断からである。その中で、OB・OG自身の就職活動を社会人の視点で振り返ってのアドバイスを頂くことで、就職活動スタートを目前に控えた受講生に対し、就職活動の表面的なテクニックだけではなく、本質を理解させることを目的とした。

実施日時	内 容	担 当(講 師)
11/9（木） 3限 13：15～14：45	キャリアデザインⅢ （3年生対象） 就職体験談 【OB、OGに聞く】	①(株)AOKI 羽深 圭希 氏 ②金井度量衡(株) 荻野 祥向 氏 ③ホシザキ北信越(株) 竹股 亜希子 氏 ④(株)スズキ自販新潟 石津 慶 氏

【参考】就職体験談～OBに聞く～の様子

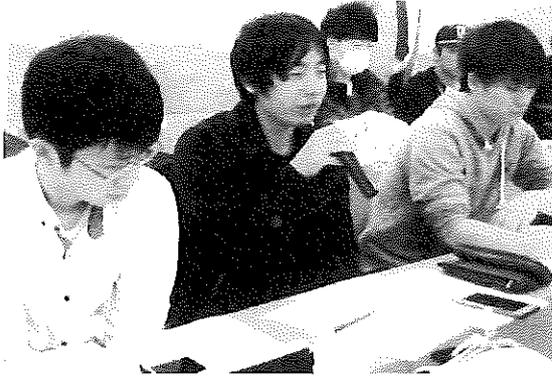
本学授業担当教員がコーディネーターを務め、インタビュー形式にて実施。OB・OGに多くの質問が飛び交い、親身にアドバイスを送り、自分の大学時代のエピソードや実体験を熱心に話っていた。内容は就職活動に役立つ事ばかりで受講生にとって貴重な経験になった。



【学生からは、沢山の質問が飛び交いました】



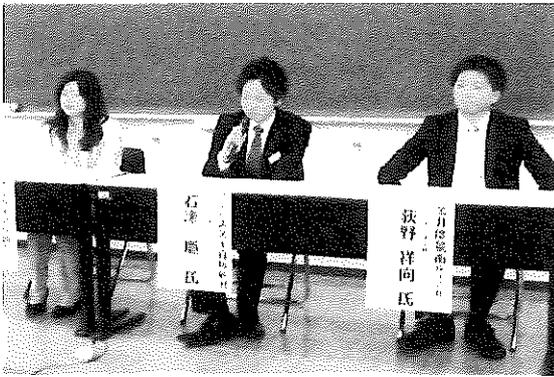
【新潟産業大学OB・OGの講師の方々】



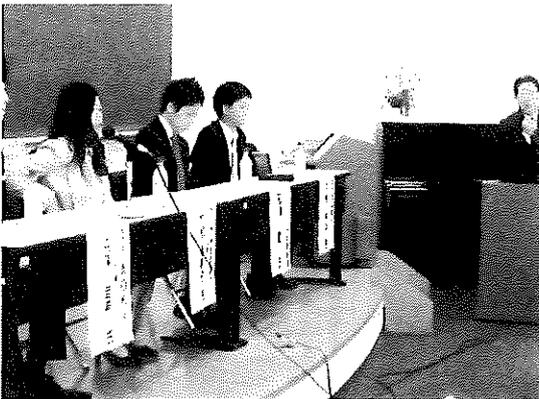
【積極的に質疑応答が交わされました】



【社会人としてアドバイスが学生に響きました】



【3年生で必要な就活準備の心得を学びました】



【非常勤講師の橋本先生にも熱が入りました】



【就活で不安な事等を質問しました】

「新潟の産業・企業を知る講座」事業効果

本学では本事業2講座の実施にあたり、新潟の産業・企業を理解するとともに、企業人の経験談を通じ、学生自身の学生生活や職業観の再構築を進めるための新たな起爆剤としての効果を期待していた。その点については講座後の感想アンケートの結果(添付資料1-1～1-2、2-1、2-2)に表れている通り、前向きな感想が多く一定の効果を得たものと判断する。また、キャリアデザインⅢを受講した3年生の就職活動がスタートしたが、就職個別面談で講座参加企業全社へのエントリーが確認できた。講座の接触がきっかけとなったという学生も多く、数的な根拠はないが一定の効果があったものと判断する。

【添付資料・1-1】講座後の感想アンケート

キャリアデザインⅡ(2年生対象) 業界研究セミナー～県内優良企業を探る～

(抜粋)

企業名	学生の感想
(株)AOKI	スーツの事について学んだり、資格を取得するのが大変な仕事だと思った。またサービス業は笑顔の大事な仕事だと感じました。(男子学生)
	企業でどのような戦略を展開しているのか、分かりやすく説明していただいた。(男子学生)
	接客業で大切なのは、ハキハキする事と、相手を思いやる気持ちが大切な事だと感じました。(女子学生)
アクシアルリテイリング(株)	企業の選び方など、社会人になる為に必要な事のアドバイスをたくさん頂き、とてもいい講義でした。(女子学生)
	これからはITの時代がやってくるのに備えて、そういった知識を身に付けないと今後は厳しいというアドバイスを頂いて、今後の学生生活の中で、IT知識を少しでも身に付けたいと感じた。(男子学生)
	常にお客様の考えを第一に様々なサービスがあることを知りました。(女子学生)
金井度量衡(株)	どんな仕事でも人との繋がりや信頼性が大切だと思った。自分は金井度量衡さんの事をあまり知らなかったのですが、新潟県で色々なところで必要とされていることを知った。 (男子学生)

	<p>社会人になると「学生の頃に〇〇の資格を取るべきだった」も っと遊んでおいた方が良かった」と思う事が多いらしく、社会 人になる準備も必要だが、「今の時間」を大切に、学生のう ちにしか出来ない事を楽しむことも重要だと教わった。(女子 学生)</p>
	<p>たくさんのお話を聞いた中で仕事は自分がやりたい事をした 方が良いと言っていました。その為には努力が必要で自分の好 きな事に一生懸命取り組む事が大事だとも教えて頂きました。 勉強は人の為でなく自分の為にするものだという事に気づけ て良かったです。(男子学生)</p>
<p>(株)スズキ自販新潟</p>	<p>自動車販売にはお客様に直接売るだけでなく中古車店などへ の卸売りもしているのを初めて知った。販売業にはお互いの信 頼関係が大切だと学んだ。(男子学生)</p>
	<p>スズキで働いてる方々は、仕事は大変だけどやりがい持って楽 しそうで。私も将来、大変なこともあると思うけど、こう いう仕事の就き方がしたいと感じました。(女子学生)</p>
	<p>国内だけでなく、外国でも車を作り、軽自動車は国内最速、最 軽量など輝かしい実績があり、素晴らしい企業だと知りまし た。(男子学生)</p>
<p>ホシザキ北信越(株)</p>	<p>人事部ではなく、卒業生の方がお話を下さって、より 細かく話を聞く事が出来ました。自社の商品に自信を 持っているからこそ、堂々と売り込んでいけるのだなど 思いました。私も自信を持てるような基盤をしっかり築 いていこうと思った。(女子学生)</p>
	<p>今まで「ホシザキ北信越」という企業を知らなかったの で今回知ることが出来て良かったです。OBの方のリアル な就活時の状況や、仕事をする上でのやりがい等を聞く 事が出来ました。(男子学生)</p>
	<p>多くの質問をすることが出来たので、気になった点を知 る事ができました。例えば、就活の時にどのような準備 をしていたのか等、聞く事が出来ました。(男子学生)</p>
<p>ワタナベグループ</p>	<p>様々なサービスをしているという事が分かりました。13 社が集まって出来ているという事も知ることが出来まし た。今後の就活にしっかりと活かしていきたいと思いま す。(男子学生)</p>

	<p>拠点は長岡市を中心に県内の主要地域と群馬・東京・千葉・茨城と展開していて、クリーニングだけをする企業だと思っていたが、飲食関係や水泳教室など沢山の企業や地域と連携していたので、大きな企業だと感じました。 (女子学生)</p>
	<p>企業はどのような人材を求めているのか、また必要とされる人材になる為には、どのように今後過ごしていけばいいのかという事を考えさせられた。(男子学生)</p>

【添付資料・1-2】講座後の感想アンケート

キャリアデザインⅢ (3年生対象) 就職体験談～OBに聞く～

(抜粋)

企 業 名	学 生 の 感 想
<p>㈱AOKI</p>	<p>AOKIで働いてるだけあって、おしゃれなスーツを着こなしていました。正直まだ何の仕事がしたいかは決まっていますが、スーツで仕事するのは改めてカッコよく思い、憧れました。(男子学生)</p>
	<p>面接時の対応、就職活動前のお話の内容がとても為になりました。自分の特技を前面に出すことと、面接の部屋に入る瞬間の挨拶から椅子に座るまでに7割がた、決まるのだと教わりました。スーツの着こなしと同じで、マナーがとても大事になってくるのだと感じました。(男子学生)</p>
	<p>働く上での難しさややりがいの両方が窺えた。好きな事と得意な事を擦り合わせていくと自分が就きたい職を見つける事が出来ると改めて思いました。ただ、自分の好きな事だけに特化してしまうとなかなか職種が限られてしまうので、得意な事をこれから増やしていきたいと思いました。(女子学生)</p>

金井度量衡(株)	先輩の堂々とした受け答えや、なるほどと思えるような回答、自分自身にも活かせる事を教えてもらえた。社会人になった時、先輩のように堂々たる人になりたいと思った。(女子学生)
	初めて OBOG から話が聞けてとても良かった。実際、こうやって話を聞ける機会が少ないので、就活や社会人生活についてちょっとでも理解できたことが、今後の就活に繋がりました。また機会がありましたら、先輩の話が聞きたいと思いました。 (女子学生)
	先輩自身が就職活動中に感じた事、思った事の体験談は、これから私が就職活動を行うにあたって参考にしたい事が沢山あり、就職活動に役立てていきたい。(男子学生)
(株)スズキ自販新潟	就職先は地元に戻り自分の興味と結び付けてここに決めたと答えてくれた。自分も地元に残り地元で貢献できて、興味のある企業を選ぼうと思った。(男子学生)
	営業はお客様との信頼関係も大事な仕事だと感じました。一つの業者の利益が大きいのですごく責任感も生まれる仕事だと思いました。(女子学生)
	体験談の内容がとても濃い内容で面白かった。学生生活での話や、社会人になってからの体験談等を学生視点で話してくれた。 (男子学生)

<p>ホシザキ北信越㈱</p>	<p>今回の講座で唯一の OG という事と、女性で営業職をしている事からとても興味を持って話を聞いた。(女子学生)</p>
	<p>自分を貰っているところがカッコ良かったです。人間関係で困ったことないって理想だなと思いました。自分は営業職に就けるか不安です。でも先輩のような社会人を目指したいです。 (女子学生)</p>
	<p>業務用の冷蔵庫や製氷機などを販売している会社で男性が多い中で女性1人働いているというのはすごいと感じました。販売するだけでなく、機械を運ぶ等、体力がいる仕事もあると知りました。そういう時に女性は不利な所もあるので大変だと感じました。そんな先輩がとてもカッコ良く見えました。 (女子学生)</p>

【添付資料 2-1】企業様アンケート集計

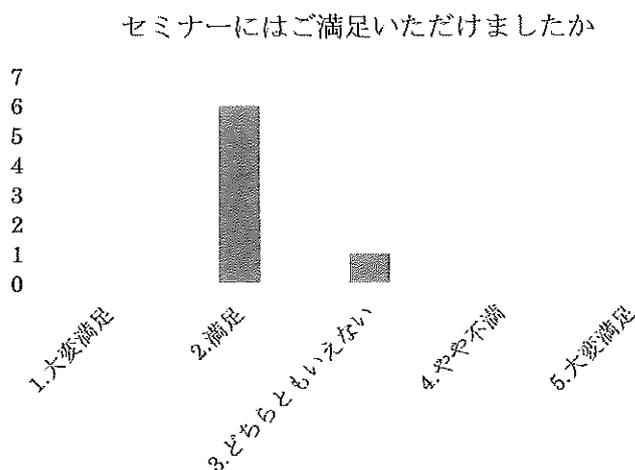
キャリアデザインⅡ・業界研究セミナー（2年生対象）

講師として出席して頂いた企業様にアンケートを取りました。

今回のセミナーに参加して、どのような感想を持たれたのかアンケート結果を見れば、ほとんどの企業様に、「満足」と答えていただいた。授業内で企業研究の機会ができた事に満足して下さった企業様が多かった。学生に関しては、低学年から県内の企業を理解し、就職に対しての意識向上が窺えた。

【質問 1】 今回の業界研究セミナーにはご満足いただけましたか。（参加企業 6 社回答）

1.大変満足	0
2.満足	5
3.どちらともいえない	1
4.やや不満	0
5.大変満足	0



【質問 2】 質問 1 の回答の理由と、要望事項があればご記入下さい。

理由

- 1 回目の学生と 2 回目の学生の聞く姿勢にやや差がありましたが、まだ 2 年生ですがとても熱心に話を聞いて下さいました。（㈱AOKI 様）
- 2 年生とお話をさせて頂き具体的な質問意識の高さを感じました。（㈱AOKI）
- 質問に積極的な学生が多く、説明がしやすかったです。（㈱スズキ自販新潟）
- 早い段階から企業研究の時間を大学側が提供して下さいました。（金井度量衡㈱）
- 多分学生さんにまだ実感がなく、企業に対して質問に迷っている学生もいました。（ホシザキ北信越㈱）

要望

- 他の人が質問しているときに、メモを取っていない方もいらっしゃったので、メモをとると他の企業さんも話しやすいかと思います。（ワタナベグループ）
- 会場が反響してしまい声が通りづらかったため、聞き取りづらかった学生がいらっしゃったと思います。その点の改善点。（金井度量衡㈱）
- もっとラフでいいと思いました。（ホシザキ北信越㈱）

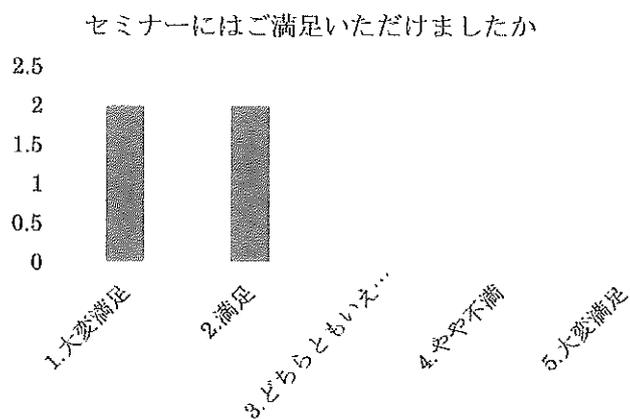
【添付資料 2-2】

キャリアデザインⅢ・就職体験談（3年生対象）

社会人・入社5年未満のOBOGの方に講師としてお招きし、2限の業界研究とは違い、社会人になってからの体験談や、大学時代での就活体験談など、普段の合説等では聞けない質問が学生から多く出ました。就活を目前に控えている3年生にとっては、とても貴重な時間になりました。OBOGの方々、ありがとうございました。

【質問1】 今回の就職体験談にはご満足いただけましたか。（参加企業4社回答）

1.大変満足	2
2.満足	2
3.どちらともいえない	0
4.やや不満	0
5.大変満足	0



【質問2】 質問1の回答の理由と、要望事項があればご記入下さい。

理由

- 受講生1人1人がメモを取り意識の高さを感じました。就職活動の成功を心から願っています。（㈱AOKI）
- とてもまじめな学生が多かったと思います。不安を解消したいという気持ちが伝わりました。（㈱スズキ自販新潟）
- 3年生の今の時期が一番不安のある時期のため、こういった時間を用意いただけることはとても貴重でした。（金井度量衡㈱）
- 楽しかったです。（ホシザキ北信越）

要望

- もう少し突っ込んだ質問があっても良かったかもしれません。（㈱スズキ自販新潟）
- 学生では考えられないような質問を用意いただけるとより就活の種になると思います。（金井度量衡㈱）
- また機会があれば呼んで頂きたいです。（ホシザキ北信越㈱）

平成 29 年度 新潟県委託事業 新潟の産業・企業を知る講座等の報告書

留学生向け講義

講座名：『留学生の就職について』

講師：公益財団法人環日本海経済研究所 蔡聖錫

期日：平成 29 年 12 月 14 日(木)

9：15～10：45

参加者：35 名(教員は除く)

概要

本講義を通じて、日本での就職に関する理解を深めることと共に、自ら就職のための事前準備、情報収集を行うことを目的とする。

講義は、日本における留学生の就職状況、新潟県企業が求める人材像、就職に関する準備の 3 つの項目を中心に講義された。日本に留学している学生数は年々増加の傾向であり、これに伴って就職する学生も年々増加している。国別で見るとアジア出身の学生が多い、その中で特に中国出身者が多くなっている。留学生の進路から見て日本国内での就職率が 27% となっている。新潟県内の留学生就職状況からみると、企業説明会に参加した学生は 100 とすると内定をもらった学生はわずか 2～3 人しかいない状況である。留学生に求める人材像としては、技術や能力よりも本人の意思を重要視する。要するに「やる気」(=Do you want to try hard?)。コミュニケーション能力、協調性 会社の文化に慣れるのか、同僚と仲良く仕事できるのか。誠実性、責任感がある人、信頼できる仲間になれるかなどを中心に評価している。それから就職のための準備は欠かせない。自己分析、就職活動の時期、履歴書、職種など基礎知識をしっかりと学んで自分がやりたい仕事、企業が求める自分になってほしい。

講義後のアンケートから学生たちの企業、就職に対する考えが大きく変化したことは評価したい。

新潟県委託事業

県内就職につながる学びの場づくり支援事業

平成29年度 新潟の産業・企業を知る講座等報告書

1) 取組内容

新潟ユニゾンプラザ福祉機器展示室（あおやまメディカル株式会社）にて体験と説明講習

2) 実施日

平成30年1月13日（土）

3) 参加者数

8名（教員は除く）

4) 趣旨・目的

福祉の分野も多岐にわたるが、特に介護高齢の分野においてはそれらに関係する企業や団体が人材不足となっている。新潟県内や柏崎市内においても同様であり深刻な問題になっている。

今回は就職活動を控えた3年生を対象とし、高齢者や福祉用具の理解を深めるとともに、身体介護（介護員）だけが介護高齢分野の仕事ということではなく、生活相談（相談員）や福祉用具貸与・販売等の仕事もあるということを知ってもらうことにより、県内への就職（特に介護高齢分野へ就職）につなげることを目的としている。

5) 結果

今回の取り組みは、新潟ユニゾンプラザの福祉機器展示室にて高齢者疑似体験と福祉用具の説明講習を受講した。この展示室の管理運営は、福祉用具貸与・販売事業者のあおやまメディカル株式会社に委託され、高齢者や障害者等の自立支援と介護する家族の負担軽減に役立つ福祉機器等の展示とともに、それらの機能紹介や選び方、使用方法等、情報提供や相談業務が行われている。

学生たち（一般の人々）の多くは、介護高齢分野の仕事というとまず思い浮かべるのは身体介護（介護員）であるが、介護高齢分野の仕事はこれだけではなく生活相談（相談員）や福祉用具貸与・販売等の仕事もあり重要な役割を担っている。本学は福祉系の大学ではないが、これらの仕事であれば経済学部で学んだ知識や経験も生かせることが多くあり、新潟県内における学生たちの就職の選択肢や幅が広がる。現地へ行き、実際の職場の状況や直接にそこで働く方々からの話しを聞くことができたということは、学生たちにとってとても有益な取り組みであった。



平成 29 年度 新潟県委託事業 新潟の産業・企業を知る講座等の報告書

日本海石地わさび園

当日は、ワサビ栽培を始めた経緯、現状や生産本数、単価、消費などについて説明を受け、経営者から事業内容を学び企業見学することによって就職に役に立つ情報を収集。そのほか、栽培プラントの見学、生ワサビの試食もした。

見当日スケジュール

日程：平成 29 年 11 月 25 日（土）

時間：9:00~12:30

参加者：44 名(教員は除く)

9:00 大学集合 ⇒⇒⇒ 9:30 大学発駅南口経由 ⇒⇒⇒ 10:00 石地わさび園着
⇒⇒⇒講習、体験、自由見学

12:00 頃 日本海石地わさび園発 駅南口経由で大学着 解散

